

研究実施のお知らせ

研究課題名:外回り看護師が局所麻酔手術の患者対応で困難に感じることとその対応の分析

研究期間: 令和7年2月1日～令和7年4月30日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

令和7年2月1日～令和7年4月30日に局所麻酔手術を受けた患者

【研究の目的と意義】

外回り看護師が局所麻酔手術で困難に感じていることに対してどのような対応をしているのかを明らかにし分析することで、患者に安心、安全な看護を提供するための一助とする。

【研究の方法】

診療録を用い、後方視的に患者対応について考察します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います。

【お問合せ先】

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問い合わせ」へ遠慮なくご連絡をください。また、今回の研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 手術センター

代表 022-308-7111(内線 3511)

研究責任者 看護師長 梅原あゆみ

研究担当者 杉本彩子 大鷲明日香 守屋千絵 秋葉達矢